



OLIVE ニュース 3月 2017

月刊紙

4月の予定 1日入所式・3日避難訓練 5日工賃支給 28日さくら会役員会

新年度に寄せて
理事長 遠藤 節子

二十八年度は大変厳しく且つ忙しい毎日でした。新しく法改正を受けての事務的作業、関係者への説明等々一朝一夕に運ばないことばかりでした。

これから利用者の暮らしがどのように変わっていくのか事業所も親御さんも将来の輪郭がくつきりと見えていてもその道程はあまりにもわからないのではないのでしょうか？

ニーズはみんな一様であることはわかるのですが一元化するのには個々にそぐわない場合もあります。

加えて国は法人大改革といわれる制度見直しを示し法人内の統治と経営の強化をするよう指示しております。

新たな事業をどのように軌道に乗せてゆくべきか、企画の見直し、職員教育を含め刷新をはかりながら運営してまいりたいと考えております。

3月11日

3月の声を聞いたとたんテレビ等では東日本大震災のそ特別番組を報じておりました。今年の3月11日、事業所はお休みの日でしたが皆様どのような思いで過ごされていたでしょうか。あの日の午後2時46分、工房阿列布では利用者の帰り支度の最中でした。大きな揺れの中、事業所前の芝生に避難し恐怖と寒さで震えが止まらなかった利用者に毛布をかけ、寄り添う職員の姿が忘れられません。この経験がいわき以外にも支援できる拠点の必要性につながり北海道のKAKA 'S FACTORYの開設となりました。震災から6年、地震に限らず台風や豪雨も今まで以上に警戒すべき事例が多くなってきております。3月だからこそ非常時の備えを確認してまいりたいと思います。

制度改革に向けて

来年度からの社会福祉制度改革の一つに法人が取り決める議決機関が評議員となります。その評議員の選任などを行うのが「評議員選任解任委員会」です。任命された評議員選任解任委員達は、三月四日に新たな評議員を決めるべく会議を行っており制度改革にそった働きを示しました。



ご存知ですか



福祉についての冊子は行政や社会福祉協議会などから発行されており、新しい情報を知る機会でもあります。事業所に届いた物は閲覧できるようにしてありますのでご利用ください。

寄付、物品寄贈の皆様 半田 美江子様 ベストフードサービス様 木田 晴久様 吉田 京子様
吉田 ハルエ様 金田 静子様 福島県火災共済協同組合様 小松谷 純子様 平澤 眞寿美様 松永 邦雄様
佐田洋子、恵子様 栗原 淳子様 渡辺 麻美様 ありがとうございます